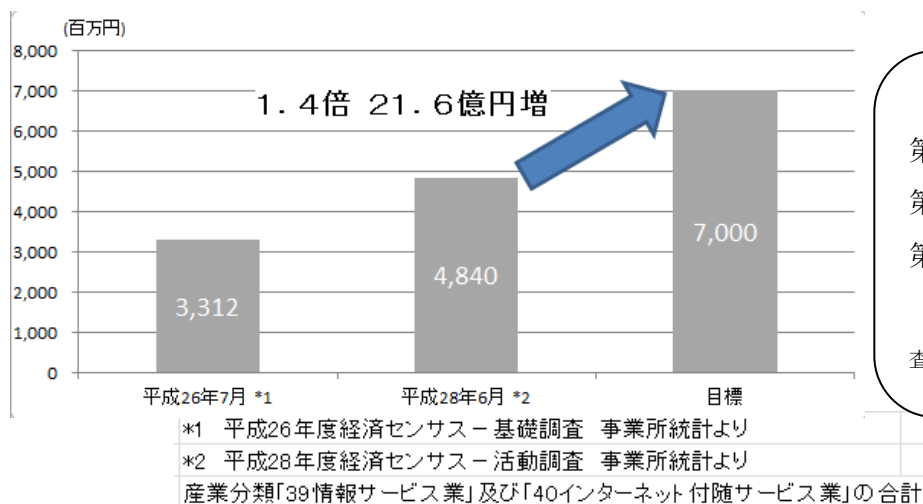


## 市内情報産業売上規模 70 億円を目指して

市は、昭和 61 年に「ソフトパーク構想」を策定し、これまで官民一体となって情報産業振興に取り組んできました。平成 28 年時点の情報産業規模（売り上げ）は約 48 億円、県内第 3 位の規模にまで成長しています。

今後、さらなる情報産業の振興を図り、情報産業規模を 70 億円とするため、市内に本社または事業所を有する情報産業事業者（※）に対し、9 月 5 日（水曜日）から以下の支援策を実施します。

（※）日本産業分類の中分類に定める「情報サービス業」および「インターネット付随サービス業」



## I IT 経営・相談事業

市内情報産業事業者の経営基盤の強化を図るため、事業拡大に向けた経営計画の策定や、国・県等による各種 IT 関連支援策の活用に向けた助言などについて、本市情報政策官が支援します。

### 1 支援の内容

- ・ 経営計画の策定・実施に係る各種助言
- ・ 事業を実施する上での技術的助言や関係事業者の紹介（事業者マッチング）
- ・ 製造業の情報化に係る情報提供（IoT や AI の導入に係る専門家の紹介など）
- ・ 国、県などの各種 IT 関連支援策の活用に関する助言など

## 2 支援者

柏崎市情報政策官 吉田 大祐

- ・株式会社政策創造研究所代表取締役社長
- ・東京都墨田区 CIO 補佐官兼 CISO 補佐官
- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構情報システム推進アドバイザー

## 3 相談費用

無料とします。ただし、事業を通じて紹介先との個別商談となった場合には、各事業者の負担となります。

# II IT テストフィールド提供事業

市内情報産業事業者が地方公共団体向けの IT サービス開発に当たって、市がテストフィールドを提供します。職員が実際の業務においてシステムを活用することにより、サービスや機能の向上を図ります。

## 1 対象事業者

市内に本社または事務所を有する情報産業事業者とします。ただし、市内情報産業事業者が事業化することを条件に、市外情報産業事業者との協業も可とします。

## 2 提供期間

原則として6カ月以内とします。

## 3 負担に関する考え方

市は、原則としてテストフィールドとなる業務担当課職員の作業のみを負担し、費用負担は伴わないこととします。また、事業者の作業スペースや電気料などについては、市が負担します。

事業者は、テストフィールドに必要なシステムを提供します。

## 4 提案および選定方法

応募申請書および提案書を企画政策課に提出していただきます。

提案受付日から14日後までに、評価選定を行います。

## 5 選定後のスケジュール

関係課による経過報告会（月1回）、事業終了後30日以内に報告書を提出、事業完了後3年後まで、年1回の事業計画に関する実績報告を求めます。